

ARACHNOPHOBIA

L'EPEE 1839 by MB&F



10TH ANNIVERSARY
A CREATIVE ADULT IS A CHILD WHO SURVIVED
MB&F



サマリー

ARACHNOPHOBIA：置き時計・壁掛け時計となるクモ

ARACHNOPHOBIAのムーブメントにフォーカスする

ARACHNOPHOBIAの巻上げと設定

技術仕様

L' EPEE 1839

MB&F

詳細についてはこちら
までお問い合わせください：
CHARRIS YADIGAROGLOU,
MB&F SA,
RUE VERDAINE 11,
CH-1204 GENEVA, SWITZERLAND
Eメール: CY@MBANDF.COM
電話: +41 22 508 10 33

ARACHNOPHOBIA

TELLING THE TIME WITH TWO HANDS AND EIGHT LEGS

サマリー

2005年創業のMB&Fは2015年、「クリエイティブな大人は、長生きした子供だ」をモットーに10周年を祝います。ジュネーブに本拠を置くこのクリエイティブ・ラボは、創業10年の節目に全く斬新なマシン数点を発表しました。視覚的にパワフルなArachnophobiaもそれらと比肩しうるほど過激です。強烈な外観にも関わらず、Arachnophobiaは人目を引く三次元スカルプチャーとして見事な置き（そして壁掛け）時計に仕上がっています。

MB&Fが考案・開発し、高級時計製造を専門とするスイスのマニュファクチュール「L' Epee 1839」社が設計・製作したArachnophobiaは、MB&F創立者マキシミアン・ブッサーの溢れんばかりの想像力と彼のアートに対する鑑識眼が融合した結果です。

Arachnophobiaは、ブッサーがジュネーブ及びドーハで目にした「ママン」と呼ばれる巨大なクモの彫刻から着想されました。「ママン」（フランス語でお母さん）は、ルイーズ・ブルジョワ（1911-2010）の彫刻で、ブロンズ、ステンレススチールそして大理石を用いています。9.27 x 8.91 x 10.24メートルのモニュメントともいえる彫刻は、世界中の様々な場所に設置されています。

ブッサーは、L' Epeeとともに非常に風変わりなコンセプトを展開しました。L' Epeeの最高級時計のムーブメントを選び、それをクモのメカニカルな頭と胴体として再考したのです。ポディーは、ホワイトの数字が時分を表示するブラックドームを備えています。洗練された仕上がりの非常に目立つムーブメントは、クモ類の自給能力を称えるものであり、8日間のパワーリザーブを誇ります。

時刻を表示するArachnophobiaの腹部両端に、重要な機械プロセスが組み込まれています。頭部は調速機とそのテン輪（及び夜間に腹を空かせた場合の顎一組）を収め、もう片方の端は、ムーブメントを動かすメインスプリングパレルを含んでいます。腹部から伸びる8本の脚は、ボールソケットジョイントでポディーに合体して魅惑的にうごめき

ます。脚は回るので、Arachnophobiaを机の上に立たせることも、壁掛けとして広げることでもできます。第3のポジションでは、大きなクモ形類のファンたちを目で楽しませます。前側の脚を、他の6本を立たせたまま前に動かすことができるのです。面白くそして驚くべき姿勢です。気を付けてください！

Arachnophobiaは、ブラックまたはイエローゴールドの2色で展開。個人的な好みは様々ですが、ブラックモデルはリアルな表情のため見ていて落ち着かない人もいでしょう。ゴールドモデルは、より彫の深いアーティスティックな外観となっています。

Arachnophobiaは、着想の源となった彫刻ほどは大きくないとしても、脚を完全に広げると直径405mmにも達し、壁にかけるとリアルな印象を与えるほどの大きさです。こうした印象がポジティブなものとなるのかネガティブなものとなるかは、時計の所有者が這い回る虫をどれ程面白がるかにかよります。

Arachnophobia には、ブラックあるいは18Kイエローゴールドメッキのモデルがあります。





サマリー

ARACHNOPHOBIA：置き時計・壁掛け時計となるクモ

ARACHNOPHOBIAのムーブメントにフォーカスする

ARACHNOPHOBIAの巻上げと設定

技術仕様

L' EPEE 1839

MB&F

詳細についてはこちら
までお問い合わせください：
CHARRIS YADIGAROGLOU,
MB&F SA,
RUE VERDAINE 11,
CH-1204 GENEVA, SWITZERLAND
Eメール: CY@MBANDF.COM
電話: +41 22 508 10 33

ARACHNOPHOBIA

TELLING THE TIME WITH TWO HANDS AND EIGHT LEGS

ARACHNOPHOBIA：置き時計・壁掛け時計となるクモ
Arachnophobiaは、218点以上もの部品数を含み、それぞれ（宝石を除く）L' Epeeのスイスのアトリエで機械加工され、仕上げが施されています。

MB&Fの風変わりなデザインを忠実に再現するためのリアルな脚の製作は、簡単ではありませんでした。L' Epeeは、脚がリアルな外観と節の動きを表現するよう、解決策を探らなければならなかったのです。さらに脚は、手作業で念入りに仕上げを施すという高級時計のスタンダードに合致することも求められました。L' Epeeは必要な幾何学的精度を得るために、金属射出成型という全く新しい方法を採用しました。射出成型法とは、材料（この場合は金属）を型に注入することで部品を製造するプロセスです。材料はまず高熱にさらされ、そして型の空洞に押し込まれます。型から取り外す前に、求める形状になるよう冷却されます。この方法は、プラスチックの成形プロセスとして極めて一般的ですが、金属成形に使われることはあまりありません。

Arachnophobiaには、イエローゴールドとブラックの2色があり、脚用に2つの異なる金属を必要とします。ゴールドモデルは金色の真鍮でできた脚が特徴なのに対し、ブラックモデルの脚は射出成型されたアルミニウムから作られ、手作業による仕上げとブラックラッカー加工が施されます。

L' Epee のCEOアルノー・ニコラスは、「型から出てきたばかりの脚はかなり粗雑なので、最終的に美しく仕上げるためには多くの注意を必要とします」と述べています。「グラインダー加工、サテン仕上げ、研磨、そしてモデルによって脚のメッキあるいはラッカー仕上げを施すなど、仕上げは全て熟練した仕上げ職人の手で行われます。」

置き時計の“ボディー”と脚に用いる仕上げ技術は、ベベリング、鏡面研磨、サテン仕上げ、サーキュラー・サテン仕上げ、サンドブラスト、研磨があります。「最も大切なことは、クモの各パーツ一つ一つに光を作用させることで

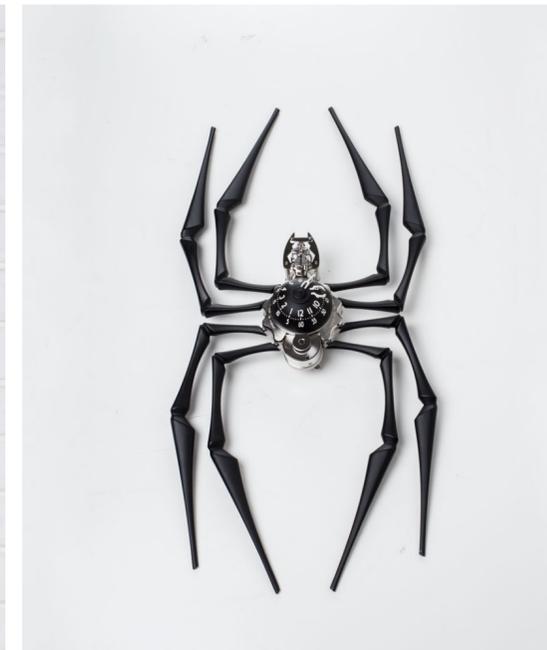
した。」アルノー・ニコラスは続けます。「いくつかのパーツには、光の作用が続くようにサンドブラストが施されています。」

8本の脚は、ボールソケットジョイントで時計の「ボディー」に合体しています。それらを回転させることで脚が平らに広がります。それらを再度回すと、この作品にインスピレーションを与えたブルジョワ作の彫刻のように立ち上がります。2本の前脚は、他の6本を立たせたまま前に進めることもできます。アルノー・ニコラスは、「クモが何かに噛みつこうとするような表情になりますよ」と笑います。

L' Epeeは、Arachnophobiaを壁に掛けられるようにする方法も開発しました。ムーブメントの下にある全く新しいタイプの留め金で、壁のステンレススティール製ブラケットに留めることができます。

アルノー・ニコラスは、「この時計を作るのは冒険でした。デザインをこれ程まで突き詰めたのは初めてです」と説明しています。「この時計製作は2つの段階を踏んでいます。第1段階はクモに関すること。そして第2段階は会議の最中のことでした。私は説明を行いながら、壁の近くでクモを手を持っていました。壁に掛けるというアイデアが突然頭に浮かんだ時、私はこの新しい時計がどれほどとてつもないものかを説明している最中だったのです。」

アルノー・ニコラスは言います。「精力的なMB&F チームとは、いつも楽しく仕事をしています。私たちは再び、前人未到の域に達したのです。この喜びを得られるから、私はMB&F チームが好きなのです。できないことは何一つありません。彼らは素晴らしいアイデアと卓越した技術を持っているのですから。」





サマリー

ARACHNOPHOBIA : 置き時計・壁掛け時計となるクモ

ARACHNOPHOBIAのムーブメントにフォーカスする

ARACHNOPHOBIAの巻上げと設定

技術仕様

L' EPEE 1839

MB&F

詳細についてはこちら
までお問い合わせください:
CHARRIS YADIGAROGLOU,
MB&F SA,
RUE VERDAINE 11,
CH-1204 GENEVA, SWITZERLAND
Eメール: CY@MBANDF.COM
電話: +41 22 508 10 33

ARACHNOPHOBIA

TELLING THE TIME WITH TWO HANDS AND EIGHT LEGS

ARACHNOPHOBIAのムーブメントにフォーカスする

L' EpeeはArachnophobiaの非常に目立つムーブメントを作るに際し、クモの体躯外観に似せさせるために8デイズムーブメントを一変させなければなりません。パラジウムメッキ加工を施した地板は、デザインにフィットするギヤトレインのレイアウト同様、再設計されました。そしてエスケープメントを90°回すことで、頭部がそれらしく表現されました。

時分はクモのボディーを表すハイドームで読みます。MB&Fのシグネチャーニュメラルを特徴付ける、研磨を施した中央ドームの上に位置する曲線状になった針で時分が表示されます。

ムーブメントを調節する部位はインカブロック衝撃保護システムを備え、時計の持ち運びによるダメージリスクを最小限に抑えます。このタイプの衝撃保護は、一般的に腕時計にのみ搭載されています。タイミングを微調整するインデックスメカニズムは、その他の最も重要な高精度組立部品とともに、頭部にはっきり見ることができます。

ムーブメントは、コート・ド・ジュネーブ、ベベリング、研磨、サンドブラスト、サーキュラー及びパーティカル・サテン仕上げをはじめとした、高級腕時計に見られる非常に洗練された最高級の仕上げが特色です。とはいえ腕時計に比べてより大きな部品、つまりより広い面積を持つ時計のムーブメントに繊細な仕上げを施すことは、腕時計とは比べ物にならないくらいのチャレンジなのです。L' EpeeのCEOであるアルノー・ニコラスの説明によると「部品のサイズが倍であれば、仕上げ時間も倍になるという単純なことではありません。作業はさらに複雑なものとなります。研磨を例に挙げると、腕時計のムーブメントを上げる時と同じ圧力をより大きな表面にかける必要がありますが、この圧力による様々な変化が目に見えてしまうのです。」

ARACHNOPHOBIAの巻上げと設定

クモの底面は、文字通りArachnophobiaの巻上げと設定の“カギ”となります。親しみを持ちながらこの精密な機

器を巻上げ、時間を設定することによって、時計とその所有者はお互いに作用し合い、密な関係を構築するのです。





サマリー

ARACHNOPHOBIA：置き時計・壁掛け時計となるクモ

ARACHNOPHOBIAのムーブメントにフォーカスする

ARACHNOPHOBIAの巻上げと設定

技術仕様

L' EPEE 1839

MB&F

詳細についてはこちら
までお問い合わせください：
CHARRIS YADIGAROGLOU,
MB&F SA,
RUE VERDAINE 11,
CH-1204 GENEVA, SWITZERLAND
Eメール: CY@MBANDF.COM
電話: +41 22 508 10 33

ARACHNOPHOBIA

TELLING THE TIME WITH TWO HANDS AND EIGHT LEGS

技術仕様

Arachnophobiaには、ブラックあるいは18K イエローゴールドメッキモデルがあります。

時分：MB&Fのシグネチャーニュメラルを特徴付ける、研磨を施した中央ドーム上に位置する曲線状の針で表示

L' Epee社内でデザイン・製造したムーブメント

テンブ振動数：18,000 bph / 2.5Hz

パワーリザーブ：8日間

部品数：218

石数：11個

インカブロック衝撃保護システム

パラジウムメッキ加工を施した真鍮あるいはゴールドメッキを施した真鍮製の機構

巻上げ：時計底面のキーによる巻上げ・設定

ムーブメント仕上げ：コート・ド・ジュネーブ、ベベリング、研磨、サンドブラスト、サーキュラー及びパーティカル・サテン仕上げ

サイズ：

高さ203 mm（脚を伸ばした状態）

時計直径（脚を広げた状態）405 mm

ムーブメントのサイズ75.3 x 134.9 x 63.8 mm

重さ：ゴールドメッキモデル1.96 kg、ブラックモデル0.98 kg





サマリー

ARACHNOPHOBIA：置き時計・壁掛け時計となるクモ

ARACHNOPHOBIAのムーブメントにフォーカスする

ARACHNOPHOBIAの巻上げと設定

技術仕様

L' EPEE 1839

MB&F

詳細についてはこちら
までお問い合わせください：
CHARRIS YADIGAROGLOU,
MB&F SA,
RUE VERDAINE 11,
CH-1204 GENEVA, SWITZERLAND
Eメール: CY@MBANDF.COM
電話: +41 22 508 10 33

ARACHNOPHOBIA

TELLING THE TIME WITH TWO HANDS AND EIGHT LEGS

L' EPEE 1839 - スイス第一級の時計製造所

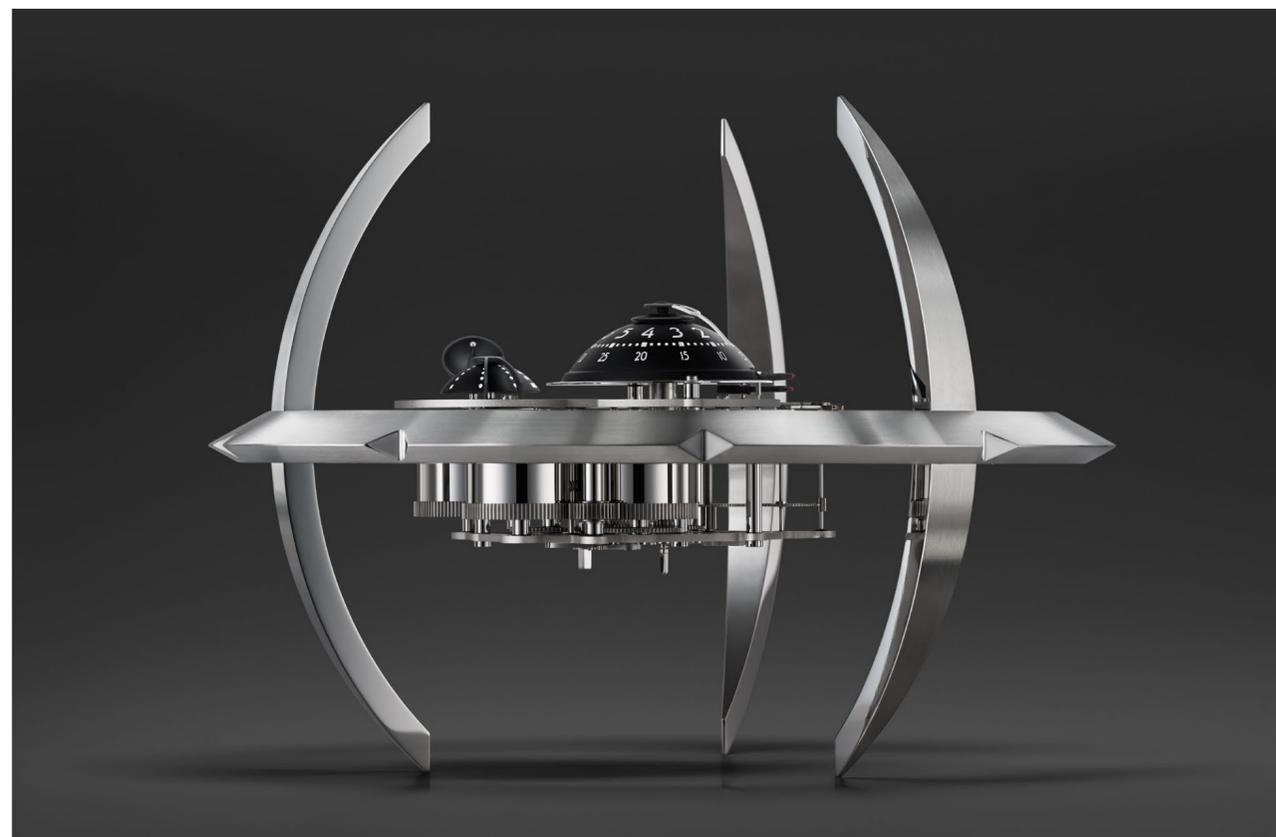
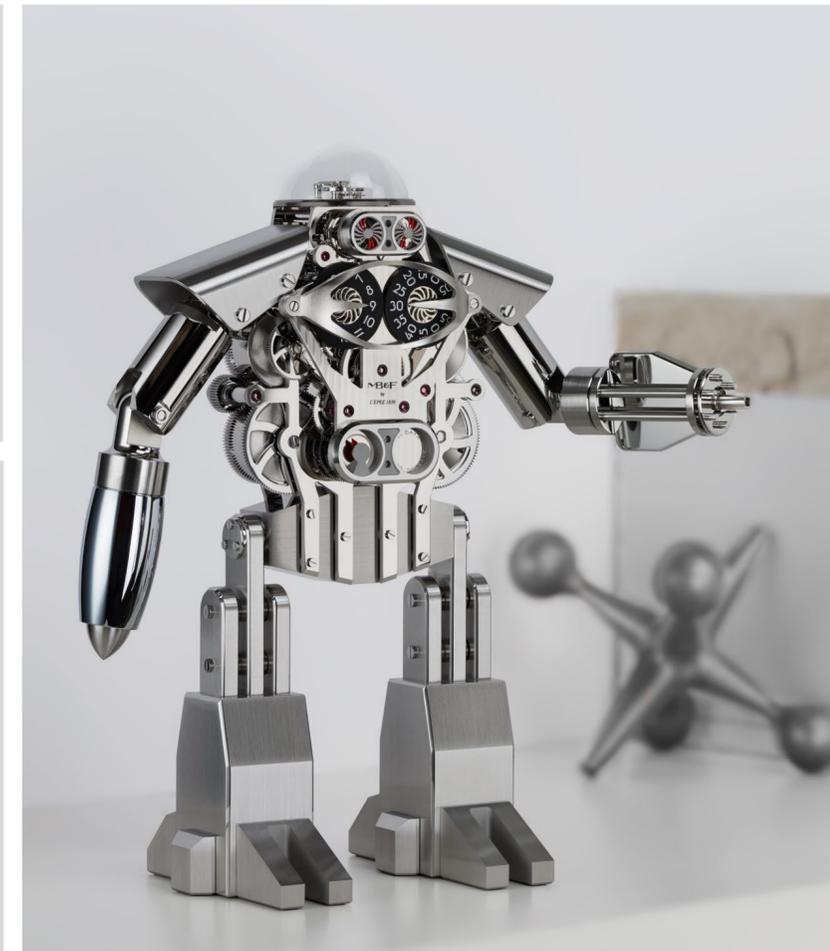
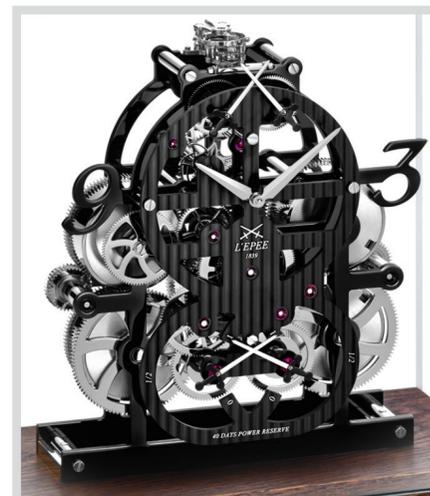
L' Epeeは175年以上、時計製造の第一線で活躍してきました。今日、高性能時計製造を専門とするスイス唯一の製造所です。Auguste L' Epee（オーギュスト・レベ）がブザンソン近郊で1839年に創業したL' Epeeは当初、オルゴールと腕時計の構成部品製造に携わっていました。L' Epeeの顕著な特徴は、全ての部分が手作りであることです。

1850年以来、製造所は目覚まし時計、置時計、ミュージカルウォッチに特化したレギュレーターのメーカーとなり、「プラットフォーム」エスケープメント生産においてリーダーシップを発揮しました。1877年までに、年間24000点のプラットフォームエスケープメントを製造していました。同製造所は、アンチノッキング、オートスタートそしてコンスタントフォースエスケープメントなど特殊なエスケープメントの特許を多数保有する著名な専門メーカーであり、また現在世に知られている複数の腕時計メーカーへのエスケープメントのサプライヤーでもあります。L' Epeeは、国際展示会において数々の金賞を獲得しています。

20世紀には、L' Epeeは最高級旅行用携帯時計でその評判を高めました。多くの人にとってL' Epeeは影響力と権力を持った人が所有する時計であり、フランス政府関係者から上流階級ゲストへの贈与品としても選定されていました。1976年にコンコルドが超音速航空機として商業就航した際には、L' Epeeの柱時計が客室の装備時計として選定され、乗客への時間の視覚的フィードバックに使われていました。1994年には、L' Epeeはチャレンジ精神に突き動かされ、調整された振り子が付いた世界最大の時計Giant Regulator（ジャイアント・レギュレーター）を構築しました。高さ2.2メートル、重さ1.2トン、機械式ムーブメントだけでも120キロの重さがあるこの時計製造には、2800人時の作業を要しました。

L' Epeeは現在、スイス、ジュラ山脈のドレモンに拠点を置いています。L' Epee1839はCEOのアルノー・ニコラス

主導の下、洗練されたクラシックな旅行用時計、現代のデザインクロック（Le Duel）、およびアバンギャルドなミニマリスト時計（La Tour）ラインナップを含む、最高級置時計のコレクションを展開しました。L' Epeeの時計は、レトログラード・セコンド、パワーリザーブインジケーター、万年カレンダー、トゥールビヨン、および打鈴機構を含むコンプリケーションを特徴としており、すべてが社内でデザイン・製造されています。超長時間のパワーリザーブは、最高水準の仕上げと共にブランドのシグネチャーとなっています。





サマリー

ARACHNOPHOBIA：置き時計・壁掛け時計となるクモ

ARACHNOPHOBIAのムーブメントにフォーカスする

ARACHNOPHOBIAの巻上げと設定

技術仕様

L' EPEE 1839

MB&F

詳細についてはこちら
までお問い合わせください：
CHARRIS YADIGAROGLOU,
MB&F SA,
RUE VERDAINE 11,
CH-1204 GENEVA, SWITZERLAND
Eメール: CY@MBANDF.COM
電話: +41 22 508 10 33

ARACHNOPHOBIA

TELLING THE TIME WITH TWO HANDS AND EIGHT LEGS

MB&F - コンセプト・ラボの起源

10年の歴史、10個のキャリアー、幾多の達成、限りない創造性

2015年に10周年を迎えるMB&F。10年に及ぶ超越した創造性。絶賛されるオロロジカルマシンとMB&Fの名声を高めたレガシー・マシンのベースを形成する10個の見事なキャリアーを誇り、この10年で世界史上初の時計製造コンセプト・ラボとなりました。

マキシミアン・ブッサーは高級腕時計ブランドで15年管理職を務めた後、2005年ハリー・ウィンストンのマネージングディレクターを辞任、MB&F（マキシミアン・ブッサー&フレンズ）を創立しました。MB&Fは、ブッサー氏が尊敬し、働く喜びを分かち合うことのできる才能あるオロロジカル職人を集め、先鋭的なコンセプト・ウォッチのデザインと小規模生産を行う芸術的なマイクロエンジニアリング・ラボです。

2007年、MB&Fは初のオロロジカルマシンHM1を世に送り出しました。HM1の彫刻の様な3Dケースと美しく仕上げたエンジン内部は、同社の風変わりなオロロジカルマシンの基準となり、HM2、HM3、HM4、HM5、HM6そしてHMXが続きました。全てのマシンは時を告げるためというより、語るマシンなのです。

2011年には、MB&Fはラウンドケースのレガシーマシン・コレクションを発表しました。これらはMB&Fにとってよりクラシカルなもので、現代的な芸術品を創作するために往年の偉大な時計製造革新者とは異なる視点で複雑機構を解釈し、19世紀の腕時計製造の卓越性への敬意を払っています。LM1 及びLM2に続いて発表されたLM101は、全て自社開発したムーブメントを搭載する初のMB&Fマシンです。

それ以降、MB&Fは現代的で型破りのオロロジカルマシンと歴史からインスパイアしたレガシーマシンを交互に発表しています。

これまでの業績例をいくつか挙げましょう。2012年度「ジュネーブ時計グランプリ」で、MB&FはLegacy Machine No.1で「パブリック賞」（時計ファンによる投票）及び「ベストメンズウォッチ賞」（専門審査団による投票）を受賞しました。2010年の同グランプリでは、MB&FはHM4 Thunderboltで「ベストコンセプト&デザインウォッチ賞」を受賞。そして2015年にはHM6 Space Pirateで国際的な「レッドドット・デザイン賞」において最高賞である「レッドドット：ベスト・オブ・ザ・ベスト賞」を受賞という、最大級の栄誉を手に入れました。

フォルダーコンテンツ

多言語のプレスリリースを表示したり、全商品画像（低解像度・高解像度）にアクセスするにはこちらをクリックしてください

THE MACHINE



ARACHNOPHOBIA BLACK



ARACHNOPHOBIA BLACK
CLOSE UP



ARACHNOPHOBIA GOLD



ARACHNOPHOBIA BLACK
FACE



ARACHNOPHOBIA
IN SITU 1



ARACHNOPHOBIA
IN SITU 2



ARACHNOPHOBIA
IN SITU 3